

南仏治安情報（2月分）

● テロ、反社会的活動、大規模デモ（邦人被害なし）

（1）コルシカ島バステリア発生、爆弾設置騒動

3日の午後、市内4つの高校に対し、「校内に爆弾を仕掛けた」旨の匿名電話が掛かってきた。学校側は警報を鳴らし、その後爆発物処理班が学校内を検索しに来る等物々しい雰囲気となったが、結局何も起こらなかった。この時仏本土から大臣がやって来ていたことから、本件は反体制派による嫌がらせ行為と目されている。

（2）コルシカ島コルト発生、爆破事件

6日未明、コルトにあるバーの前で爆発が起こり、店舗の扉が壊された。本件に関する犯行声明等はない。

（3）コルシカ島 Porticcio 発生、爆破事件

28日未明、空きレストランを狙った爆破事件が発生した。この物件は昨年にもターゲットとなっていた。今回の爆破による損害はほとんどなかった。

● 殺人（邦人被害なし）

（1）オーバーニュ発生、殺人事件（被疑者の逮捕）

恋人である50歳女性を殺害した容疑で、2月上旬に30歳の男が逮捕された。男は被害者をナイフでめった刺しにして殺害しており、その執拗な犯行手口から恋人間に何らかの確執が起こったものと見てこれまで捜査が進められてきた。

（2）ニース発生、ガス爆発による隠蔽を凶った実子殺人事件（被疑者の逮捕）

1月下旬にニースのアパートで発生したガス爆発により4歳の男児が死亡、その母親が重傷を負うという「事故」が発生したが、警察の捜査により本件が事故ではなく母親による子殺しであったと裏付けられ、母親が12日夜に仮収容された。

（3）ガール県ニーム発生、殺害された遺体の発見

12日、道路の側で男性の遺体が発見された。遺体には複数の殴打された痕やナイフで切りつけられた痕があり、遺体の近くにハンマーなどが遺棄されていた。警察は複数犯による殺人事件と見て捜査を進めている。

（4）コルシカ島アジャクシオ発生、けん銃使用殺人事件

16日朝、アジャクシオの玄関口であるロータリー式交差点において、血を流して倒れている男性が発見された。男性は30代で、自分の車の側に倒れていた。男性はすぐに病院に搬送されたが、頭部と胸部をけん銃で撃ち抜かれており、まもなく死亡した。

（5）ヴァール県トゥーロン発生、けん銃使用殺人事件の発生と被疑者の逮捕

20日夜、薬物販売歴のある20歳の男がアパートの扉前にて何者かに銃で頭を撃ち抜かれ、搬送先の病院で死亡した。翌日20代の男2名が警察に自首し、その後3人目の犯人も拳銃所持容疑で逮捕されたが、本件に使用された銃と特定できなかったことから釈放された。犯人らと被害者は同じシテ出身であった。

● 強盗（邦人被害なし）

(1) アルル周辺地域発生、強盗・自動車盗グループの逮捕

10日、国道に設置された速度取締機がスピード違反の写真を自動撮影したところ、写っていたのは盗難被害に遭っていたポルシェであり、同車両の屋根には盗品と見られる大量の物品が積まれていた。これを受け憲兵隊は170名体制で同車両の追跡を行い、追跡捜査の結果5人の男を逮捕した。男らは、昨年9月からアルル周辺地域にある工具店やスポーツ用品店、高級ブティック等65店舗で強盗事件を起こしており、自動車133台を盗んでいる。被害総額は80万ユーロに上る。アジト内からは自動小銃が発見・押収された。

(2) マルセイユ発生、強盗致傷事件の発生と被疑者の逮捕

12日昼頃、1区 Lemaitre 通りで男1名が通行人男性をナイフで脅してバッグを奪い取った。この際抵抗した被害者はナイフで腕と脚を刺されて病院に搬送された。しかし、犯行現場を見ていた別の男性が犯人を追跡し、20分後に犯人を捕まえ被害品を取り戻すことに成功した。犯行に使われたナイフは犯行現場に遺されていた。

(3) アヴィニョン発生、酒屋を狙った強盗事件

13日の夜、Bonneterie d'Avignon 通りにある酒屋にけん銃を持った男1名が押し入り、店長を縛り上げた。その後犯人はレジ内から現金約400ユーロを奪って徒歩にて逃走した。警察は監視カメラの映像解析を開始し犯人の特定を急いでいる。

(4) マルセイユ発生、スーパーを狙った強盗未遂事件

12日午前中、12区 Jean-Compadiou 通りにあるスーパーに顔をスカーフで覆いけん銃を持った2人組の男が押し入った。男らは店員を脅し金庫内の現金を奪おうとしたが、機転を利かせた店長が金庫のある部屋の中へ避難し、難を逃れた。犯人らは扉を開けようとしたがうまくいかず、諦めて逃走した。

(5) マルセイユ発生、タバコ店を狙った強盗事件

15日朝方、7区 Corniche Kennedy にあるタバコ店に3人組が押し入り、小銃と自動式けん銃で店員を脅して店の売上金とタバコ数カートンを奪い逃走した。

(6) BDR 県 Miramas 発生、パン屋を狙った強盗未遂事件

21日朝、パン屋に顔を覆った2人組が押し入り、銃で店員2名を脅して金庫内の現金を奪おうとしたが、金庫を発見できずに逃走した。警察は目撃情報等を基に犯人を追跡し、1名を逮捕した。この20代の男は麻薬の売人として警察に把握されていた。警察は残り1名の行方を追っている。

(7) オート・ザルプ県 Laragne-Monteglin 発生、パン屋を狙った強盗事件

22日朝、銃を持った男1名がパン屋に入り店員に金を出すよう命じた。店員が出した現金を奪うと男は逃走、ギャップ憲兵隊が行方を追っている。

(8) マリニャーヌ発生、タバコ店を狙った強盗事件

21日夜、顔を覆った3人組の男がタバコ店に押し入り、スタンガンを示して店長を脅し、その間残りの者が金庫内の現金を奪った。さらに犯人らはタバコ数カートンも奪って逃走した。

(9) マルセイユ発生、スーパーを狙った強盗事件

27日午前中、4区にあるスーパーのチェーン店“Intermarche”に4人組の強盗が押し入り、現金を奪い逃走した。しかし、目撃情報を元に警察は犯人らのアジトを突き止め、犯人1名を逮捕した。

● 性犯罪

(1) オート・ザルプ県ギャップ発生、強制わいせつ事件

24日、30代の男が強制わいせつ罪で警察に逮捕された。男は車に乗って若い女性を自宅までつけ回し、そこで他の住人が現れるまでの間わいせつ行為に及び逃走した。犯人はその後何度も同女のアパートを訪れたが、車のナンバーから足がつき逮捕されることとなった。

● 傷害（邦人被害なし）

(1) マルセイユ発生、父親による実子傷害致死事件（被疑者の逮捕）

1月末、9区 Cayolle 地区のアパートで、夫婦喧嘩で激高した28歳の男が、2歳の男児を叩いて意識不明の重体にする事件が発生した。男児の異変に気付いた妻が救急隊を呼んだところ男は逃走した。この男は4日に自宅近くで逮捕された。男児は同日病院で亡くなった。

(2) マルセイユ発生、ナイフ使用傷害事件

8日朝方、14区のシテ les Oliviers の建物前に男性が血を流して倒れているのが発見され、駆けつけた救急隊によって救助された。男性は身体の複数箇所をナイフで切りつけられており、本人の言によると、隣人男性にナイフで刺されたとのことであった。

(3) マルセイユ発生、鈍器使用傷害事件

9日午後、2区サン・ジャン通りを歩いていた77歳男性が、いきなり現れた男にペタンク用の玉で顔を殴られ鼻の骨を折られる被害に遭った。犯人はすぐに逃走した。

(4) マリニャージュ発生、窃盗未遂犯逃走時の傷害事件

10日午前中、幼稚園に男1名が侵入した。男の目的は職員の財物であったと見られるが、犯行途中で職員らに発見され逃走した。その際、園児らとぶつかり3名を負傷させた。

(5) マルセイユ発生、交通上のトラブルに端を発する傷害事件

16日夕方、サン・シャルル駅前において、交通上のトラブルからフォルクスワーゲンに乗った男がタクシー運転手と口論を始めた。口論の末、男はタクシーを殴って傷付けた上、ガラス瓶を持ち出してタクシー運転手の頭を叩いて立ち去った。後にこの車が8日に盗まれたものであり、偽造ナンバーが付けられていたことが判明した。

(6) マルセイユ発生、高校内での爆発物使用による傷害事件

19日午前中、10区 Jean-Perrin 高校にて、教育指導主任の呼び出しを受けた16歳男子生徒が同主任に手製の爆発装置を投げつけ怪我を負わせた。本件発生を

受け、副市長は教育現場という聖域を侵す暴力行為を断固として許さない旨の声明を發した。

(7) マルセイユ発生、隣人トラブルに端を發する傷害事件

21日夜、北地区において連日頻繁に家のドアをノックしてくる13歳少年のいたずらに激高した24歳の男が、自宅にあるモデルガンをもって玄関を開け、少年の頭部及び臀部を撃って怪我を負わせた。

● 薬物関連

(1) アヴィニョン発生、禁止薬物の輸入及び製造事件（被疑者の逮捕）

5日、アヴィニョン税関当局がインドから輸入された小包の中から禁止薬物であるアンフェタミン200錠を發見・押収した。これらはインターネットで注文したものと見られ、さらに警察当局が同小包の送り先に対して家宅捜索を実施した結果、アンフェタミン製造が可能な研究所のような設備が見つかった。さらにけん銃等の武器も發見された。住人である40代の男は、同禁止薬物の輸入・製造事実を認めている。

(2) アルプ・ド・オート・プロヴァンス県マノスクにおける、一斉取締りの実施

GIPN（仏国家警察介入部隊）は17日朝方、事前情報を元にTrinque d' Isnard 地区の一斉取り締まりを実施し、その結果、大麻樹脂 1.5kg、コカイン 40g、8,000ユーロを押収し、未成年1名を含む17歳から23歳までの15名を逮捕・拘留した。

(3) マルセイユ発生、大麻遺留被疑者の逃走

22日夜、警察が11区内のシテ地区をパトロール中、突然停車中の車から男が降りて逃走するのを見掛けた。警察官が乗り捨てられた車内を検索したところ、乾燥大麻と現金 7,000ユーロが見つかった。警察は逃走した男を追跡すべく、DNA鑑定等の捜査を開始した。

● その他特異事件（邦人被害なし）

(1) マルセイユ発生、動物虐待事件（被疑者の逮捕）

マルセイユのシテ地区で24歳の男が子猫を虐待し、フェイスブックに配信したことから全国的に大きな反響が巻き起こった。動物愛護団体の抗議や「犯人を私刑に」の意見も多数寄せられた。本事件の社会的反響の高さから捜査に乗り出した警察は犯人を逮捕し、裁判の結果犯人には禁固1年の有罪判決が下された。

(2) BDR 県ペルテュイ発生、企業恐喝事件（被疑者の逮捕）

2012年7月から一企業に対し脅しを掛け、総額数10億ユーロをゆすり取っていた容疑で、この度9名の男が逮捕された。犯人らは27から40歳で、いずれもマフィアのメンバーであった。

(3) マルセイユ発生、特異手口による窃盗事件（被疑者の逮捕）

5日から6日にかけての夜、男1名が警備員の目をかいくぐって商業施設内に「侵入」した。この男は閉店時間前に施設内のトイレに隠れ、施設が完全にもぬけの殻となった後に姿を現し高価な物を盗もうと物色した。しかし、施設内には男の欲望を満たすような高額商品はなく、レジ内にも現金が残されていないかったため、大

した収穫を得られないまま駆けつけた警官に逮捕された。

(4) BDR 県シャトールナール発生、現金引出機前でのカード窃盗事件（被疑者の逮捕）

15日、憲兵隊は41歳の男を窃盗容疑で逮捕した。この男は、昨年9月シャトールナールの現金引出機で現金を引き出していた女性の間を見て引出機から排出された同女の銀行カードを盗み、即日4,000ユーロを引き出していた。被害者は被害翌日まで、カードを回収していなかったことに気付かなかったという。

(5) ヴォークリューズ県 Carpentras 発生、けん銃乱射事件

16日未明、北通りに面したレストラン“La Cantina”前に男が現れ、9mm口径の銃をレストランに向けて乱射して逃走した。この事件で怪我人は出なかったが、当時店内にはまだ客が複数いた。

(6) オート・ザルプ県発生、連続空き巣事件

2月中旬の1週間で、ギャップ近郊の3市町村において10数件の空き巣被害が発生した。警察は同一グループによる連続犯行の可能性を踏まえて捜査している。

(7) マルセイユ発生、特異手口による窃盗事件

16日未明、11区 Valentine の商業施設内にあるカーショップ“Feu Vert”に泥棒が侵入した。犯人は店の屋根を突き破って内部に侵入し、金庫内の現金を盗み出そうとした。しかし店内には警報システムが設置されており、犯人らの侵入により警報が作動したことから金庫をこじ開けることを諦め、陳列されていた商品を盗んだ。警報により警察が駆けつけた時は既に店内はもぬけの殻であった。

※ ここに掲載した事件は新聞等の公開情報を基にまとめておりますが、掲載した事件以外にも日々各種事件が発生していることを申し添えさせていただきます。